

重みつけ投票オブジェクトを動的に作っていくことを考えてみました。基本的にオブジェクトを評価するプロセスがあって、その重要さを重みつけ投票オブジェクトとして出力する・・・ということになると思います。

その評価プロセスですが、次のものが考えられます。

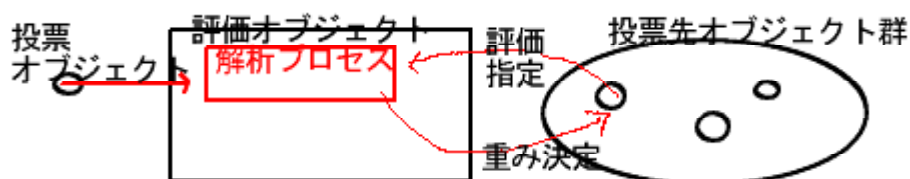
(1) 評価オントロジー

- ・センサ・・・身体配置、痛覚、すべり覚、張覚、温覚、匂い覚、味覚
- ・脳幹・・・生きていくために必要な身体的な評価（空腹など）
- ・扁桃体・・・メリット・デメリット、恐怖、心地よさ

(2) 拡張オントロジー（前頭葉で評価するもの）

- ・重要さ
- ・難儀さ
- ・メリット・デメリット

評価プロセスと評価対象との関係は次の図のようなものでしょう。



投票オブジェクトは連想元のオブジェクトで、例えば「時間がある」というようなもので、投票先オブジェクトとして「炬燵で勉強する」とか、「パソコンで作業する」とか、「何処かへでかける」というようなものが連想されます。その連想の重みつけをけいさんするのですが、「炬燵で勉強する」は「難儀さ」が低いというように連想値で解析するのです。オントロジーに分解するまで、評価オブジェクトが入れ子になって、解析プロセスが連鎖していきます。

「難儀さ」は体験でデータをえたり、事象が複雑に絡んだりしているというようなことを解析して数値化していくのです。

前頭葉はこんな感じでしょうか。

おわり